

職場体験レポート

作成者

大洲市立平野中学校

2年 氏名：宮崎 凌太



職場の紹介 大洲消防署（大洲地区広域消防事務組合）

創業： 昭和 40 年 3 月 31 日
住所： 大洲市愛媛県大洲市大洲 1 0 3 4 - 4



こんな職場です！

救助、救急、消火の三つに対して素早く動いてけが人を助けます。現場で使う資器材や車両の点検を毎日欠かさず行い、いざという時に完璧に備えている職場です。

事業所の写真



職場で体験したこと



朝 8 時 30 分に集合し、仕事の引継ぎをする場に立ち会いました。引継ぎが終わると、次に当日の打ち合わせをします。打ち合わせでは、工事をしているところを確認したり、その日行うことの確認をしたりします。次に体操をして、車両点検や資器材の点検をします。この点検は、毎朝必ず行っています。もしもの時に安全に動かないといけなからです。1 日目は、防火服体験とホース連結、放水訓練をしました。防火服体験では、重くて暑かったけれど消防署の方は素早く着替えていたので「さすがだなあ」と感じました。ホース連結は、説明をしてもらい実際に体験させてもらいました。僕はホースをうまく真っすぐ伸ばせられませんでした。ホースの連結は説明してもらったとおりうまくできました。

5 日目には、はしご車搭乗体験をしました。3 日目にする予定でしたが、雨によって 5 日目になりました。はしご車のクレーンのバスケットに乗ると、そこにはバスケットを操作する機械がありました。その機械ははしご車を操縦する人に伝えるようになっていました。そしてバスケットに乗って高さ 30 メートルまで昇ると、周りの建物が小さく見えました。はしご車に乗ることはめったにないので貴重な体験ができました。



体験学習を通して



うれしかったこと、うまくできたこと

体験を通じてうれしかったことは、学んだことを生かして救急体験ができたことです。救急体験では、血圧と血液の中にある酸素、脈拍数を測りました。僕は教えてもらったことをうまくできるか不安でしたがスムーズにできました。

大変だったこと、失敗したこと

体験を通して大変だったことは、防火服などの特殊な服や器具を身に付けたことです。重くて大変でしたが、消防署の方が一緒に手伝ってくださったので助かりました。消防署の方は器用に素早く着替えていて、たくさん訓練したんだと思いました。



感想



働く人の姿から学んだこと

学んだことは、人を助けるために素早く行動すること、車両点検や資器材の点検を絶対に欠かさないことです。日々継続して行うことで火事や救助、救急の時に素早く行動して 1 秒でも早く人を助けられるということを知りました。

全体を通して学んだこと

全体を通じて学んだことは、コミュニケーションを取ることの大切さです。仕事は終始、皆で声を出しながら仕事をしました。防火服を着るときも「〇〇よし」など声を掛けてコミュニケーションをとっていることがわかりました。学校生活でも、これから学級のみならず、工夫しながら連携し、コミュニケーションをとっていきたくです。

